

# 中間市第4次障害者基本計画策定のためのヒアリング調査

名 称	社会福祉法人 はまゆう福祉会家族支援事業(はまゆう家族会)		
回答者氏名	檜橋 恭一	ご連絡先	

## 1. 貴団体について

貴団体についてお聞きします。団体の組織の概要などについてわかる範囲でご記入ください。

①貴団体の活動内容についてお聞かせください。

(団体概要・実施している取組みなどについて関連資料の添付でも結構です。)

はまゆう家族会は、社会福祉法人はまゆう福祉会の家族支援事業という位置づけですが、保護者のみならず、半数以上が利用者の家族ではない方で構成され、地域家族会の要素も含んだ家族会です。

◎主な活動

①運営委員会

※12名の運営委員で毎月運営委員会を行い、行事・活動の企画・検討や情報交換を行っています。

※コロナ禍の状況を見ながら対面または、オンラインで実施しています。

②精神障がい者家族ピアサポートプログラム「家族による家族学習会」

※平成24年から毎年実施しています。

※全国連合会の企画委員やアドバイザーも輩出して、普及活動や担当者養成も行っています。

③はまゆう講演の集い

※平成22年から毎年実施していましたが、令和2年からコロナ禍で中止しています。

④ライングループ懇談会

※コロナ禍になって行事・活動が自粛になり、繋がりを絶たないためにライングループを作り、23名のメンバーが集まり、毎月(できない月もある)懇談会や教材を決めて学習等を実施しています。

※その他にこのライングループを使って、情報の発信・交換や連絡をしています。

⑤研修会への参加

※全国連合会・九州ブロック・県連合会の大会や研修会等に参加していますが、コロナ禍になってからは、オンラインで視聴会を行っています。

⑥啓発活動等

※広報紙を発行したり、町の要請で全国障がい者週刊の街頭啓発活動に参加したりしています。

②構成員の状況(令和4年12月1日現在)

構成員 ( 50 )人

構成員の平均年齢( 73 )歳くらい

③おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 大幅に増えた

3. ほとんど変わらない ✓

4. やや減った

2. やや増えた

5. 大幅に減った

④現在の活動上の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 新規メンバーの加入が少ない
2. メンバーに世代などの偏りがある ✓
3. メンバーが仕事・家事などで忙しい ✓
4. 活動メンバーの専門性が不足している ✓
5. 役員のなり手がいない ✓
6. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
7. 活動がマンネリ化している
8. 資金が不足している ✓
9. 活動に必要な情報が集まらない
10. 情報発信する場や機会が乏しい
11. 障がい者のニーズに合った活動ができていない
12. 他の団体と交流する機会が乏しい
13. その他

(具体的にご記入ください)

当会の活動は、比較的活発なほうだと自負していますが、高齢化で活動参加の広がりには欠け、一方で現役世代の方は、仕事があり参加が困難であり、毎回同じメンバーなのが課題です。「こころの電話相談」で相談された方が家族会を知り、「家族による家族学習会」に参加することによって家族会の良さを感じて入会される方もあり、毎年退会者も出ますが入会者もあるために会員数は、現状を維持しています。

## 2. 障がい者施策に求めるものについて

障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、中間市に希望することなどについて、自由にお書きください。（\*すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書き下さい。）

### ①保健・医療について

（健診、相談・訪問指導、障がいの早期発見や療育、医療機関・医療体制について など）

県と市町村で、精神障がい者保健福祉手帳1級の方の医療費については、「重度障がい者公費負担医療制度」が適用されて全科無料となっていますが、精神科病院入院は、対象から除外されています。2021年12月の県議会の質問で知事は、「住み慣れた地域に於いて、在宅に於いて生活を送ることを促進する観点から、精神科入院以外の医療費を助成対象としている」との答弁がありましたが、地域移行を促進し精神科長期入院を減らすとの国の方針のために精神科入院を助成対象から除外するという事は納得できません。入院者を減らし地域移行を促進することは大事ですが、そのために精神科入院費を助成対象にしないのは、道理にあわないです。福岡県障がい福祉課にも意見を述べていますが、この制度は、県と市町村が半分ずつ費用を出すと聞いていますので、貴市におかれても県と協議され、是非とも精神科入院も助成対象にしてください。精神科入院の費用は、家族の大きな負担になっています。家族は高齢化し年金暮らしの方が多いです。

親亡き後のことを考えると、訪問医療等の地域ケア体制を充実させて欲しいと思います。

### ②生活環境の整備について

（施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について など）

JR と高速道路については、交通運賃の割引制度が、3障がいの中で身体障がい者と知的障がい者には適用されていますが、精神障がい者にはまだ適用されていません。平成5年に改正された障害者基本法で精神障がいも障害者として定義付けられたのですから他の障がいと同等にサービスが提供されて良いと思います。平成 29 年に西鉄が実施に踏み切っていただき、その後航空大手2社をはじめ様々な交通事業所が実施していただいています。JR と高速道路はまだです。精神障がい者にとって、この障がい間格差は、心のバリアだと思えますし、社会参加促進や自立の妨げになっていると言っても過言ではありません。国や県にもお願いしていますが、貴市におかれても何か働きかけができるようでしたら是非ともよろしく願いいたします。

### ③相談・情報提供について

(相談体制、情報の取得・コミュニケーション支援 など)  
基幹相談支援センターが必要と思います。

#### ④住まい・住宅の確保について

(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム・ケアホーム など)  
家族も高齢化して、皆さん親亡き後の心配をされています。そのために精神障がい者も地域で安心して暮らせる地域生活支援拠点の充実が大事と思います。

#### ⑤雇用・就労について

(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場について、福祉的就労について など)  
企業が障がい者雇用率を満たすために費用を払い、事業所で障がい者を雇用する障がい者雇用率売買ビジネスが最近広がっていますが、障がい者を食い物にする悪質な事業だと思います。企業が直接雇ってその企業で働いてもらうのではなく、お金だけ払って雇用ビジネス事業所で働かせることが雇用率に算定できるというのは、おかしいと思います。そんな事業所を推奨しないでください。

#### ⑥障がいへの理解と交流について

(障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)

#### ⑦教育・保育について

(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)

今年度から高校1年生の保健体育の教科書に精神障がいについて掲載されるようになりました。世の中には、精神障がいに対する無意識や無理解からくる偏見があります。子供のころから正しく理解することが大事であり、出来れば中学生の頃から学べると良いと思っています。

#### ⑧生涯学習活動について

(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)

#### ⑨防犯・防災について

(防犯・防災、災害時対策について など)

#### ⑩新型コロナウイルスについて

(新型コロナウイルスのために問題や課題になっていること、また、そのために求められる取組など)  
施設の利用者確保が困難になり、利用者の通所率も下がっているため、施設の経営に支障をきたしています。

感染対策は細心の注意を払ってやっており、家庭内感染者や濃厚接触者は出ていますが、検査対応等の水際対策で今のところ施設からの感染者は出ていません。

### 3. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。



# 中間市第4次障害者基本計画策定のためのヒアリング調査

名 称	中間市手をつなぐ育成会		
回答者氏名	井上 浩	ご連絡先	

## 1. 貴団体について

貴団体についてお聞きします。団体の組織の概要などについてわかる範囲でご記入ください。

①貴団体の活動内容についてお聞かせください。

(団体概要・実施している取組みなどについて関連資料の添付でも結構です。)

・中間市内の障がい児(者)を持つ親達が力を合わせて、子供達の人権を尊重して生きがいのある生活を実現させる為に昭和 47 年に結成された団体です。

育成会の主な取組み

昭和 50 年 心身障がい児通園事業(市の委託)を開設

昭和 52 年 障がい児学級(中間北小学校内)を開設

昭和 53 年 在宅障がい者の生活及び作業指導を目的とした「仲間園」の作業開始

平成 12 年 知的障がい者通所授産「仲間園」の開園

主な年間行事

中間市手をつなぐ育成会定期総会 相談事業

会員相互の親睦のためのレクリエーション

年末餅つき大会及びプレゼント

中央公民館文化祭への展示

中間市「やっちゃん祭」への出品販売

②構成員の状況(令和4年12月1日現在)

構成員 ( 8 )人

構成員の平均年齢( 76 )歳くらい

③おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 大幅に増えた

3. ほとんど変わらない

4. やや減った ✓

2. やや増えた

5. 大幅に減った

④現在の活動上の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 新規メンバーの加入が少ない ✓
2. メンバーに世代などの偏りがある
3. メンバーが仕事・家事などで忙しい
4. 活動メンバーの専門性が不足している
5. 役員のなり手がいない ✓
6. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
7. 活動がマンネリ化している ✓
8. 資金が不足している
9. 活動に必要な情報が集まらない
10. 情報発信する場や機会が乏しい
11. 障がい者のニーズに合った活動ができていない
12. 他の団体と交流する機会が乏しい ✓
13. その他

(具体的にご記入ください)

1、新規メンバーの加入が少ない

- ・仲間園に入園する時に入会を交渉
- ・他の施設より要請があった時
- ・各特別支援学校の体験実習の時、先生及び保護者に勤めている

5、役員のなり手がいない

- ・現在の役員年齢は 70～80 代です
- ・若い会員さんは共働きの大半でなってくれない

12、他の団体との交流する機会が乏しい

- ・新型コロナ感染症によりこの3年間全く交流ができない
- ・施設見学を年何回かしていましたが、用事がある時は電話のみです

## 2. 障がい者施策に求めるものについて

障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、中間市に希望することなどについて、自由にお書きください。（\*すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書き下さい。）

### ①保健・医療について

（健診、相談・訪問指導、障がいの早期発見や療育、医療機関・医療体制について など）

- ・市立病院がなくなり、病院に通う個所が増え、親子の負担が増えている。この実情を行政は知ってほしい。
- ・障がい者が高熱がでて、コロナの疑いがある場合、特定の医療機関で速やかにPCR検査をしていただくようお願いしたい。

### ②生活環境の整備について

（施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について など）

### ③相談・情報提供について

（相談体制、情報の取得・コミュニケーション支援 など）

社会福祉法人仲間会、障がい福祉サービス事業所仲間園  
上記施設と取り組んでいます。

#### ④住まい・住宅の確保について

(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム・ケアホーム など)

・グループホーム、ケアホームの入居が65才までになり、とても苦慮しています。65才以上は介護施設にというのは疑問です。

・仲間園のケアホーム等を利用しています。

#### ⑤雇用・就労について

(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場について、福祉的就労について など)

仲間園の就労継続B型及び生活介護での簡単な作業でわずかな工賃で活動している。

#### ⑥障がいへの理解と交流について

(障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)

地域内の行事に参加し、交流しています。

⑦教育・保育について

(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)

⑧生涯学習活動について

(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)

⑨防犯・防災について

(防犯・防災、災害時対策について など)

#### ⑩新型コロナウイルスについて

(新型コロナウイルスのために問題や課題になっていること、また、そのために求められる取組など)

- ・障がいのある方の中には、病院での受診や検査等がとても苦手で家族がとても苦勞されることもあります。できれば障がいの特性を理解し、不安を和らげ、検査や受診、治療が出来る病院や医師が訪問してくれるなどの取組があれば助かります。
- ・年間の行事(バスハイク、餅つき大会等)が3年程開催されず残念に思っています。

### 3. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

今、発達障害が増えている中、中間市は学校の統廃合をする計画があるようですが、マンモス校になれば行き届いた十分な教育がなされるのか懸念します。

中間市には親亡き後、障がい者が安心して生活する施設がありません。生まれ育った中間で生活できるような施設建設を節にお願いします。

ご協力ありがとうございました。

# 中間市第4次障害者基本計画策定のためのヒアリング調査

名 称	中間手話の会		
回答者氏名	岡部 瑤明	ご連絡先	

## 1. 貴団体について

貴団体についてお聞きします。団体の組織の概要などについてわかる範囲でご記入ください。

①貴団体の活動内容についてお聞かせください。

(団体概要・実施している取組みなどについて関連資料の添付でも結構です。)

聴覚障害者に対し手話を使ったコミュニケーションによる交流・支援並びに行政通訳の補助  
ハピネスなかまボランティアセンターにて水曜 13:30~15:30(第5週除く)第2・第4土曜 10:00~  
12:00 例会を行っている。

②構成員の状況(令和4年12月1日現在)

構成員 ( 20 )人

構成員の平均年齢( 60 )歳くらい

③おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)

- |           |              |            |
|-----------|--------------|------------|
| 1. 大幅に増えた | 3. ほとんど変わらない | 4. やや減った ✓ |
| 2. やや増えた  |              | 5. 大幅に減った  |

④現在の活動上の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 新規メンバーの加入が少ない ✓
2. メンバーに世代などの偏りがある ✓
3. メンバーが仕事・家事などで忙しい
4. 活動メンバーの専門性が不足している
5. 役員のなり手がいない ✓
6. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
7. 活動がマンネリ化している ✓
8. 資金が不足している
9. 活動に必要な情報が集まらない
10. 情報発信する場や機会が乏しい
11. 障がい者のニーズに合った活動ができていない
12. 他の団体と交流する機会が乏しい ✓
13. その他

(具体的にご記入ください)

ボランティア団体主体のPR(紹介)での加入のケースがほとんどのため、行政とのワークショップ等での交流があれば新たな会員の加入につながるのでは?と考えられる



## 2. 障がい者施策に求めるものについて

障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、中間市に希望することなどについて、自由にお書きください。（\*すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書き下さい。）

### ①保健・医療について

(健診、相談・訪問指導、障がいの早期発見や療育、医療機関・医療体制について など)  
遠隔通訳の際タブレット(通信料)の使用に難しさがある

### ②生活環境の整備について

(施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について など)  
ろう者が活用できる場が少ない(理解を含め)

### ③相談・情報提供について

(相談体制、情報の取得・コミュニケーション支援 など)  
緊急時の内容の伝達が通訳者→ろう者の流れでしかなく、スピーディな安全確保が難しい

④住まい・住宅の確保について

(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム・ケアホーム など)  
通訳士不足(他事業所の理解も含め)

⑤雇用・就労について

(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場について、福祉的就労について など)  
働く場所の拡充と理解が必要

⑥障がいへの理解と交流について

(障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)  
行政とのワークショップ等の企画が欲しい

⑦教育・保育について

(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)  
耳が不自由な児童との交流等あれば良い

⑧生涯学習活動について

(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)  
スポーツ大会等あれば良い(ろう者が参加しやすい体制)

⑨防犯・防災について

(防犯・防災、災害時対策について など)  
スマホを使用するろう者も増えているが、漢字がわからなかったり字が小さく理解しにくい場合がある

⑩新型コロナウイルスについて

(新型コロナウイルスのために問題や課題になっていること、また、そのために求められる取組など)  
会員の多数が高齢のため、例会ができない。ろう者の支援をする際コロナが発生する場合の保障、コロナ対策が課題

3. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

ろう者への理解、交流のきっかけが欲しい

ご協力ありがとうございました。

# 中間市第4次障害者基本計画策定のためのヒアリング調査

名 称	中間市身体障害者福祉協会		
回答者氏名	青木 勝弘	ご連絡先	

## 1. 貴団体について

貴団体についてお聞きします。団体の組織の概要などについてわかる範囲でご記入ください。

①貴団体の活動内容についてお聞かせください。

(団体概要・実施している取組みなどについて関連資料の添付でも結構です。)

○定期総会 令和4年4月24日 ハピネスなかま

前年度事業報告・決算報告 2022 年度事業計画・予算

○定例役員会(1ヶ月1回 第2日曜日 ハピネスなかま)

○スポーツ練習(1ヶ月1回 第3土曜日 南小学校体育館 14 時～16 時)

練習競技種目(ボッチャとフライングディスク)

○研修1泊旅行(国東半島巡り 10 月 23 日 別府「太陽の家」見学 10 月 24 日)

○第1回中間市障がい者スポーツ大会(11 月 12 日 9 時～12 時 体育文化センター)

競技種目(ボッチャ フライングディスク 卓球バレー)3種目

<予定>

○市長との懇談会(2月)

○情報交換会(3月)

②構成員の状況(令和4年 12 月 1 日現在)

構成員 ( 35 )人

構成員の平均年齢( 70 )歳くらい

③おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 大幅に増えた

3. ほとんど変わらない

4. やや減った ✓

2. やや増えた

5. 大幅に減った

④現在の活動上の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 新規メンバーの加入が少ない ✓
2. メンバーに世代などの偏りがある ✓
3. メンバーが仕事・家事などで忙しい
4. 活動メンバーの専門性が不足している
5. 役員のなり手がいない ✓
6. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
7. 活動がマンネリ化している
8. 資金が不足している ✓
9. 活動に必要な情報が集まらない
10. 情報発信する場や機会が乏しい
11. 障がい者のニーズに合った活動ができていない
12. 他の団体と交流する機会が乏しい ✓
13. その他 ✓

(具体的にご記入ください)

- 1, 市は障がい者を照会していただきたい
- 2, 若い障がい者が加入していない
- 5, 会員が少ないため 役員になる人がいない
- 8, 行事を行うと財政的に負担となるので年間行事も限られている
- 12, 他の団体(障がい者団体との交流がない)
- 13, 中間市は市が認定している障害者相談員1名です。最低3人は必要です。

## 2. 障がい者施策に求めるものについて

障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、中間市に希望することなどについて、自由にお書きください。（\*すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書き下さい。）

### ①保健・医療について

（健診、相談・訪問指導、障がいの早期発見や療育、医療機関・医療体制について など）

○病気、事故などで突然障がい者になる場合があります。本人は勿論、家族の理解、協力が必要です。病院に入院しているときから障がい者としての手続き、リハビリに励むことが求められます。そのための援助を手際よく、早急に市は行っていただきたいと思います。

### ②生活環境の整備について

（施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について など）

○障がい者が生活保護を受給した場合、生活に必要な自家用車の使用を認めて頂きたい。

### ③相談・情報提供について

（相談体制、情報の取得・コミュニケーション支援 など）

○障がい者の相談日を毎月第2日曜日に行っています。中間市は障がい者相談員は1名しか認定していません。その1名が入院、勤務、私用などで出来ない場合、ボランティアとして会長が参加しています。毎年行われる身体障がい者相談員研修会も自己負担で参加しています。最低3名は必要です。身体障がい者相談員の増員をお願いします。

#### ④住まい・住宅の確保について

(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム・ケアホーム など)

○市営、県営アパートの入居を希望する人には、1ヶ月以内に入居させていただきたい。現状では、空き室はあっても入居出来る状態になっていません。(入居出来る状態に清掃、改修ができていません)くじが当たらないと入居できない人たちがいます。財政的に困窮している人の住居を確保する役割を市や県は行っていただきたいと思います。

○中間市は歩道の全てがバリアフリー化されていないため、車いすを使用する障がい者や運転免許を返上した人達が運転する電動四輪車など、自由に運転でき自由に日常生活できるように歩道の整備をしていただきたい。

#### ⑤雇用・就労について

(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場について、福祉的就労について など)

○障がい者が就労すると「賃金が極めて少ない」ことから、「働く意欲が持てない」と苦情が寄せられています。障がい者が就労する賃金を上げる必要があります。

○精神障がい者が就労する場合、精神的な起伏があり、雇用者とのトラブルなどを相談、指導、援助を行って頂きたい。

#### ⑥障がいへの理解と交流について

(障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)

○「障害者週間」に市が主催で、障がいへの理解促進についての講演、交流会を行っていただきたい。対象団体：障がい者施設、障がい者団体 市職員 その他



#### ⑦教育・保育について

(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)

○中間市立「さくら保育園」は、幼児からの障がい児を受け入れる保育園となっています。市は「さくら保育園」の利点活かし、他の民間保育園も学ぶ保育園になっていただきたい。

#### ⑧生涯学習活動について

(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)

○現在、中間市身体障害者福祉協会は、スポーツとしてボッチャ、フライングディスクを毎月1回、南小学校体育館を2時間借り、練習しています。しかし、使用料が1時間400円2時間800円です。使用料を無料にして頂きたい。

#### ⑨防犯・防災について

(防犯・防災、災害時対策について など)

○防犯・防災、災害時の対策として、訓練を定期的に行なっていただきたい。

#### ⑩新型コロナウイルスについて

- (新型コロナウイルスのために問題や課題になっていること、また、そのために求められる取組など)
- 新型コロナウイルスのために行事を中止することもあり、計画が実行できず会員に失望をあたえた。
  - 行事を実行しても会員の判断に委ねる以外になく、参加を確保することが困難でした。

### 3. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

- 計画策定にあたり、障がい者、その家族、障がい者施設の意見、要望を求めていますでしょうか。
- 中間市第4次障害者基本計画が決定されたら広く市民に知らせ理解、協力を求めています。
- 中間市として、「障害者基本計画」を障がい者、その家族、障がい者施設に知らせるには、広報誌、催しを定期的に行なっていますでしょうか。

ご協力ありがとうございました。

# 中間市第4次障害者基本計画策定のためのヒアリング調査

名 称	なかま音訳の会		
回答者氏名	藤澤 冬美	ご連絡先	

## 1. 貴団体について

貴団体についてお聞きします。団体の組織の概要などについてわかる範囲でご記入ください。

①貴団体の活動内容についてお聞かせください。

(団体概要・実施している取組みなどについて関連資料の添付でも結構です。)

- ・中間市より委託され、広報なかま・議会だより等の音声訳版を作成し、発送しています。
- ・令和3年度の活動報告を添付します。

②構成員の状況(令和4年12月1日現在)

構成員 ( 9 )人

構成員の平均年齢( 74 )歳くらい

③おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)

- |           |              |            |
|-----------|--------------|------------|
| 1. 大幅に増えた | 3. ほとんど変わらない | 4. やや減った ✓ |
| 2. やや増えた  |              | 5. 大幅に減った  |

④現在の活動上の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 新規メンバーの加入が少ない ✓
2. メンバーに世代などの偏りがある ✓
3. メンバーが仕事・家事などで忙しい
4. 活動メンバーの専門性が不足している
5. 役員のなり手がいない
6. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
7. 活動がマンネリ化している
8. 資金が不足している
9. 活動に必要な情報が集まらない
10. 情報発信する場や機会が乏しい
11. 障がい者のニーズに合った活動ができていない
12. 他の団体と交流する機会が乏しい
13. その他 1

(具体的にご記入ください)

紙の広報なかま等が各家庭に配布されるのに合わせて音声訳を届けられると良いのですが、編集・発送作業の曜日をその都度変更することができないため、遅くなる月があります。

## 2. 障がい者施策に求めるものについて

障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、中間市に希望することなどについて、自由にお書きください。（\*すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書き下さい。）

### ①保健・医療について

（健診、相談・訪問指導、障がいの早期発見や療育、医療機関・医療体制について など）

### ②生活環境の整備について

（施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について など）

- ・点字ブロックが欠けたり、はがれていたりします。早く修理して下さい。
- ・レンガ敷の歩道は経年劣化で沈んだり割れたりすると、雨水が溜まりやすくなったり、歩きにくくなったりします。障害のある人は特にそうです。安全・安心な歩道にして下さい。

### ③相談・情報提供について

（相談体制、情報の取得・コミュニケーション支援 など）

④住まい・住宅の確保について

(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム・ケアホーム など)

⑤雇用・就労について

(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場について、福祉的就労について など)

⑥障がいへの理解と交流について

(障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)

⑦教育・保育について

(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)

⑧生涯学習活動について

(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)

⑨防犯・防災について

(防犯・防災、災害時対策について など)

⑩新型コロナウイルスについて

(新型コロナウイルスのために問題や課題になっていること、また、そのために求められる取組など)

3. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。



# 中間市第4次障害者基本計画策定のためのヒアリング調査

名 称	中間市視覚障害者の会 つばさの会		
回答者氏名	栗田 陽子	ご連絡先	

## 1. 貴団体について

貴団体についてお聞きします。団体の組織の概要などについてわかる範囲でご記入ください。

①貴団体の活動内容についてお聞かせください。

(団体概要・実施している取組みなどについて関連資料の添付でも結構です。)

- ・視覚障がい者への福祉サービスの改善、向上を目的とした行政との話し合い
- ・視覚障がい者への理解を求め、小学校における総合的な学習のお手伝い
- ・情報へのアクセスを目指して、音声パソコンやスマートフォン教室の開催
- ・会員間の交流を目的とした体験学習会(料理教室等)、バスハイク等のレクリエーションの開催
- ・機関紙『つばさタイムズ』の発行

②構成員の状況(令和4年12月1日現在)

構成員 ( 59 )人

構成員の平均年齢( 68 )歳くらい

③おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)

- |           |                |           |
|-----------|----------------|-----------|
| 1. 大幅に増えた | 3. ほとんど変わらない ✓ | 4. やや減った  |
| 2. やや増えた  |                | 5. 大幅に減った |

④現在の活動上の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 新規メンバーの加入が少ない
2. メンバーに世代などの偏りがある ✓
3. メンバーが仕事・家事などで忙しい
4. 活動メンバーの専門性が不足している
5. 役員のなり手がいない ✓
6. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
7. 活動がマンネリ化している
8. 資金が不足している
9. 活動に必要な情報が集まらない
10. 情報発信する場や機会が乏しい
11. 障がい者のニーズに合った活動ができていない
12. 他の団体と交流する機会が乏しい
13. その他

(具体的にご記入ください)

コロナウイルス感染症の脅威が薄れ、感染に気を配りながらも、もう少し気楽に行事を開催できるようになればよいと思う。

また、視覚障害者のガイドヘルパー不足に困り、土曜日・日曜日のヘルパー依頼が困難な状況があり、例会の日程の調整を含め、余暇や学習会の企画や参加に影響が及んでいる。

## 2. 障がい者施策に求めるものについて

障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、中間市に希望することなどについて、自由にお書きください。（\*すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書き下さい。）

### ①保健・医療について

（健診、相談・訪問指導、障がいの早期発見や療育、医療機関・医療体制について など）

中間市立病院が閉院し、地域の中核となる病院が無くなり、体調が悪くなった際に病院の検索など情報へのアクセスが困難なこともあり、病院探しが大変になった。

保健センターなどで気軽に電話相談など受けれると少し安心できる。

### ②生活環境の整備について

（施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について など）

・夕方から夜間の居宅介護（家事支援）や同行援護（ガイドヘルパー）の人材の不足に困り、事業所と契約できない、また契約があっても、利用時間を消化できない状況があり、生活全般の質が保たれていないように感じることもある。

・中間市が実施している、生活訓練等事業の時間数についてですが、トータルの時間数で12時間分16パーセントが令和3年4月に削られました。この時間数を増やしてください。また緊急事態、例えば急な引っ越しなどに因る歩行訓練などにも速やかに対応できるように充実させてください。

・移動が困難な障害者についてはタクシーチケットの制度を拡充していただきたい。

・情報バリアフリーについては、視覚に障害があっても支障なく必要な情報を受け取ることができるように情報アクセシビリティ、ウェブアクセシビリティの充実を図りながら、多くの人々が利用しやすい、電話等での個別対応についてもきめ細やかなサービスの提供をお願いしたい。

・生活環境の整備という観点から日常生活用具給付事業について給付対象者の生活状況や環境について詳細な把握に努めていただき、本人の要望に沿って適切に給付していただけますようお願いいたします。また、視覚障害者の支援機器は進化し、生活環境も時代とともに変化することを踏まえて中間市日常生活用具給付事業実施要綱や

給付品目についても、当事者の要望を反映するよう数年おきの見直しを検討していただきたい。

### ③相談・情報提供について

(相談体制、情報の取得・コミュニケーション支援 など)

#### ④住まい・住宅の確保について

(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム・ケアホーム など)

#### ⑤雇用・就労について

(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場について、福祉的就労について など)

視覚障害者の職業として

三療師(さんりょうし)鍼・灸・按摩マッサージ指圧の国家資格を有して仕事に従事している者が多いが音声パソコンを使用した事務職や点訳のサービスなど他の職種でも働く場が広がってほしいと常々感じています。

就労継続や就労移行支援が充実し、安心して長く働ける場所が増えてほしい。そして、就労についての悩みを障害者が一人で抱え込まなくても良い環境を整備してほしい。

#### ⑥障がいへの理解と交流について

(障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)

日本でのパラリンピック開催が近づくに合わせて共生社会の実現という言葉が度々耳にするようになった。障害の有無にかかわらず、互いを尊重し理解し合う、そして助け合う姿勢が大切で心のバリアフリーと環境のバリアフリーの両方が欠かせません。市民が多く参加して楽しめるイベントを実施するなど、交流の場を提供してほしい。また、環境のバリアフリーにも積極的に取り組んでいただき住みやすく生活しやすい中間市になるとありがたい。

⑦教育・保育について

(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)

⑧生涯学習活動について

(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)

⑨防犯・防災について

(防犯・防災、災害時対策について など)

近隣の方と交流し、親しくなれる機会の提供があったらよいと思う。風水害、地震、家事、急病のときなど、助けを求めることのできるセイフティーネットがご近所で作れたら安心して日々を過ごせるのではないかと思います。

#### ⑩新型コロナウイルスについて

(新型コロナウイルスのために問題や課題になっていること、また、そのために求められる取組など)  
新型コロナウイルスの流行の初期はウイルスの性質がわからずに国民すべてが怯えていました。助けを求めても、接触や接近を気にして立ち止まってもらえず、援助依頼が難しかったことや触った物は購入しなければならないという風潮があり、触って確かめることしかできない私たちは肩身の狭い思いをしたこともあります。

現在ウイルスとの共存を目指す社会が生まれようとしています。買い物や飲食店でも様々なことが急激に変化し、

キャッシュレス決済やお金やICカードを利用した自動支払い機、スマートショッピングカートや飲食店でのタブレット機器を使った注文など人を介さない方式に対応できないことが多くあります。人員の削減とも相まって対話しながらサービスを受けることができず大変に不便を感じています。

### 3. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

# 中間市第4次障害者基本計画策定のためのヒアリング調査

名 称	福岡県腎臓病患者連絡協議会		
回答者氏名	中島由希子	ご連絡先	

## 1. 貴団体について

貴団体についてお聞きします。団体の組織の概要などについてわかる範囲でご記入ください。

①貴団体の活動内容についてお聞かせください。

(団体概要・実施している取組みなどについて関連資料の添付でも結構です。)

福岡県腎臓病患者連絡協議会(略称:福腎協)は、福岡県内の腎臓病患者の医療と生活の向上を目的に、1973年6月17日に結成した腎臓病患者の会です。会員数は現在3,500人です。

福腎協は、全国の都道府県の腎臓病患者会が加盟している一般社団法人全国腎臓病協議会(全腎協)とともに、腎臓病に関する医療や福祉の諸問題について国や地方自治体へ要望を申し入れる活動を行ってきました。

その成果の一つに、腎臓病の早期発見・早期治療を願う国会請願により、1978年から学校検尿が義務化されたことがあります。また、腎臓移植普及啓発のための街頭キャンペーンおよび移植の法の整備を願った国会請願活動の結果、1980年から「角膜および腎臓の移植に関する法律」が施行され、1997年には念願の「臓器移植法」が成立しました。

また、CKD(慢性腎臓病)予防対策についても、国や県や関係機関に長年要望を続けてきました。国は2009年に「CKD特別対策事業実施要項」を策定して、地方自治体の取り組みを促しました。この年から、福腎協でも一般市民を対象とした腎臓病予防と移植普及啓発のための「市民公開講座」を県内各地で開催をしました。

私たちは腎臓病患者の立場から社会啓発活動を行い、その他にも、腎臓病に関する講演会の開催や会報誌の発行を通じて、腎臓病患者の療養生活の向上につとめています。

・役員構成 会長1名・副会長3名・事務局長1名・事務局次長1名・地区長4名・ブロック長13名

・運営費 会員の会費によって運営。

・活動内容 国会請願署名活動・県内60市町村陳情・会報誌年間6回発行・ピアカウンセリング・

学習講演会・交流会・市民公開講座「腎臓病を考える」・市町村の健康講座で体験発表

各種会議 他

②構成員の状況(令和4年12月1日現在)

構成員 ( 3500人 )人

構成員の平均年齢( 70 )歳くらい

③おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)



1. 大幅に増えた

3. ほとんど変わらない

4. やや減った

2. やや増えた

5. 大幅に減った

#### ④現在の活動上の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 新規メンバーの加入が少ない
2. メンバーに世代などの偏りがある
3. メンバーが仕事・家事などで忙しい
4. 活動メンバーの専門性が不足している
5. 役員のなり手がいない
6. 会議や活動の場所の確保に苦勞する
7. 活動がマンネリ化している
8. 資金が不足している
9. 活動に必要な情報が集まらない
10. 情報発信する場や機会が乏しい
11. 障がい者のニーズに合った活動ができていない
12. 他の団体と交流する機会が乏しい
13. その他

(具体的にご記入ください)

透析になる原疾患をみると、50年前は腎臓病からが主であったが、学校検尿や特定健診などの普及により、早期発見早期治療の結果、腎臓病が悪化して透析になる人は減っています。その反面、成人病である糖尿病からくる糖尿病性腎症や高血圧などからくる腎硬化症からの透析導入者が増えています。つまり成人病で年月が経過してから腎臓にダメージが及び、腎臓の機能が低下して透析になる人がおおいので、80歳～90歳の高齢で透析なる人が多数です。透析になるとときにはすでに介護状態である人が多く、患者会活動はできない状況です。

## 2. 障がい者施策に求めるものについて

障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、中間市に希望することなどについて、自由にお書きください。（\*すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書き下さい。）

### ①保健・医療について

（健診、相談・訪問指導、障がいの早期発見や療育、医療機関・医療体制について など）

じん臓がわるくなると、食生活や適度な運動が大事になりますので、CKD 重症化予防対策としては食事や運動などの生活の指導を、健康教室においての教育ならびに、腎臓病を発症している人には継続した指導が必要です。

### ②生活環境の整備について

（施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について など）

慢性腎不全透析になって腎臓が廃絶したら、週に3回必ず通院して透析を受けないと生命に危機を及ぼします。高齢化すると公共交通機関での通院が困難になります。タクシー利用者においては月額9万円かかっている患者もいます。高齢化しても安心して通院透析ができるような支援を希望いたします。

介護施設への入居は透析患者の場合、患者の体調変化への不安と通院送迎問題がネックとなって入居させてもらえない実態があります。介護施設へ理解をしていただけるように、医療と介護の連携を図るために透析医師から介護施設関係者へ説明の機会を設けてほしい。

### ③相談・情報提供について

（相談体制、情報の取得・コミュニケーション支援 など）

腎臓病初期の患者（保存期）は、孤独で不安なものです。病院では3分診察で詳しく腎臓病の話を知ることが出来かねて、一番悩む時期でもあります。そのような患者さんにはピアカウンセリングが有用なので、福腎協の相談コーナーを紹介いただきたい。

④住まい・住宅の確保について

(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム・ケアホーム など)

⑤雇用・就労について

(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場について、福祉的就労について など)

⑥障がいへの理解と交流について

(障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)

高額な医療費を使うことを差別的な非難をされると嘆く透析患者が、地方に行くにしがたが多いです。

⑦教育・保育について

(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)

⑧生涯学習活動について

(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)

⑨防犯・防災について

(防犯・防災、災害時対策について など)

災害時、透析病院の水と電気の確保をお願いしたい。

災害時の透析施設への患者移送方法を検討していただきたい。

避難所において、CAPD のバッグ交換ができる場所の確保をお願いしたい。

⑩新型コロナウイルスについて

(新型コロナウイルスのために問題や課題になっていること、また、そのために求められる取組など)

- ・透析患者あるいは移植患者が感染した場合は入院治療をお願いします。
- ・入院ができなくて在宅の場合は、透析に行くための通院支援をお願いします。

3. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。